

小田原市公設水産地方卸売市場連絡協議会

No. 6

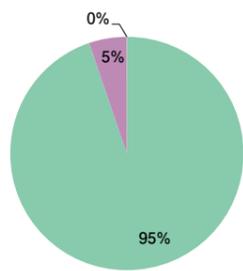
1. 実施体制	共 催	HACCP 認定加速化支援センター (構成機関：一般社団法人海洋水産システム協会) 小田原市公設水産地方卸売市場連絡協議会
	後 援	小田原市
2. 実施日	令和元年 7月 19日	
3. 場 所	会場名	小田原市水産海浜課会議室
	所在地	神奈川県小田原市早川 1-10-1
4. 講 習	講 師	岡野 利之 一般社団法人海洋水産システム協会 研究開発部 部長代理〔技術士：水産〕 岩田 佳之 一般社団法人海洋水産システム協会 研究開発部兼設計部 技師補
	内 容	1. 食品衛生法の改正と HACCP 制度化の概要 2. HACCP 手引書解説【水産物卸売業・水産物仲卸業】について 3. 小田原漁港本港（市場）の課題と対策〔意見交換〕 質疑応答・意見交換 アンケート調査
5. 参加者数	32名	



講習会アンケート結果

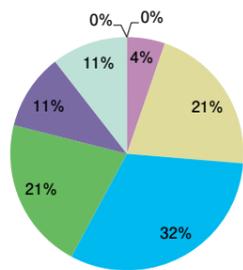
1. あなたの性別についてお答えください。

■ 1) 男性 ■ 2) 女性 ■ 3) 無回答



2. あなたの年代をお答えください。

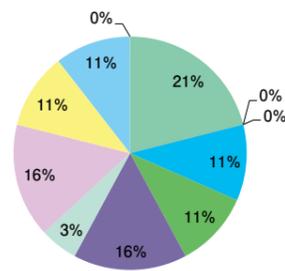
■ 1) 10代 ■ 2) 20代 ■ 3) 30代 ■ 4) 40代
■ 5) 50代 ■ 6) 60代 ■ 7) 70代以上 ■ 8) 無回答



3. 業種についてお答えください。

■ 1) 漁業 ■ 2) 養殖業 ■ 3) 荷受業(漁協職員含む) ■ 4) 仲買業 ■ 5) 加工業 ■ 6) 小売業
■ 7) 運送業 ■ 8) 関係団体 ■ 9) 行政関係 ■ 10) その他 ■ 11) 無回答

10) その他
・蒲鉾製造
・市場卸



4. (講習会を受けた上で)産地市場として品質衛生管理の取り組みに対する考えを教えてください。また、あなたが取組みたいと思った内容があれば教えてください。

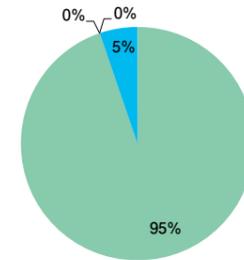
■ 1) 取組んでいきたい ■ 2) どちらともいえない ■ 3) 取組みたくない ■ 4) 無回答

●ご意見

- 安全・安心の魚を出す。
- 取組んでいる。
- 現在は地域ブランドが1人歩いている。その前段の衛生が先であると思う。
- 漁師・漁協と買受人と市場・役所との意見交換会・話し合いをして、より良い方向に向かえれば良いと思う。
- 衛生管理はまず心構えの問題だと思う。取付にくいものとするのではなく、取組み始めることが重要。
- 車と人を誘導するコーンの設置。防鳥対策。

5. 講習会は役に立ちましたか？ また、印象に残っていることはありますか？

■ 1) 役に立った ■ 2) どちらともいえない ■ 3) 役に立たない ■ 4) 無回答

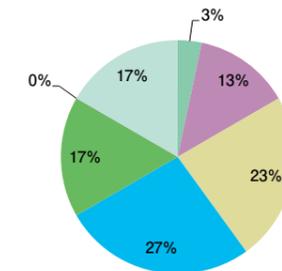


●ご意見

- もう一度衛生管理を見直したいと思いました。
- 他の市場よりこの市場のスペースが狭くより工夫が必要。ポスターは良いと思う。
- 品質管理の説明にデータを出していただいたので分かりやすかったです。
- 資料が分かりやすかった。

6. 品質・衛生管理について、興味・関心のある情報はありますか？(複数回答可)

■ 1) 海外の品質・衛生管理に関する情報 ■ 2) 国内の品質・衛生管理に関する情報 ■ 3) 市場の品質・衛生管理に関するソフト対策(実施方法や管理手法、マニュアルなど) ■ 4) 市場の品質・衛生管理に関するハード対策(施設や設備など) ■ 5) HACCPに関する情報 ■ 6) その他 ■ 7) 無回答



6) その他

- 再整備を控えているので、他市場で再整備した後の使い勝手と魚価や信頼、ブランドにどう変化があったのか。

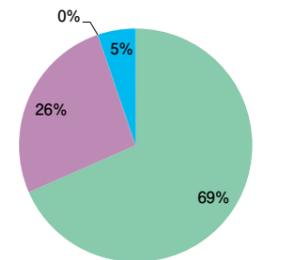
7. 産地市場の品質・衛生管理について、あなたが考える改善すべき課題があれば教えてください。

- 長靴の消毒。
- この市場は開放型であり、これをなくすことはできない。簡単にできること(防鳥ネット、人の通行区分、ネコ等の排斥)からやる。
- 防鳥ネット等が欲しい。手洗い設備等があれば皆意識化していく。
- 鳥、ネコ、人(観光客)の対策と賑わい、活性化をどう両立をはかるのか。

8. 今回の講習会はいかがでしたか？ ご意見、ご要望、ご感想等がありましたら教えてください。

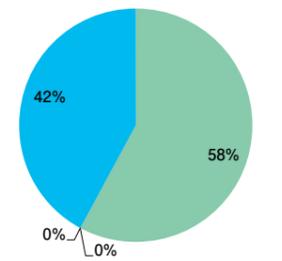
①第1部について

■ 1) よかった ■ 2) ふつう ■ 3) よくなかった ■ 4) 無回答



②第2部について

■ 1) よかった ■ 2) ふつう ■ 3) よくなかった ■ 4) 無回答



●ご意見等

- 地魚の食べ方、メ方、以前の定置網研究会等の講習会等やって欲しい。その中で衛生管理も含めて講習をしていきたい。
- 現場の人にも分かるように、小学生高学年レベルの話し方にしてもらえるとうれしい。他の市場での先進事例とトラブルという具体的な事例を話してもらえたのは良かった。実感として伝わるので。